

海外交流研修(台湾)に行ってきました！ 12月11日(火)~15日(土)

●12月11日(火) 台湾1日目

1日目は、17時半に小松空港に集合し、台湾に向けて出発しました。夜遅くの到着でしたが生徒は元気で、日本と違う外の風景に驚いていました。

●12月12日(水) 台湾2日目

朝、台湾新幹線で台南に移動し、現地の国立新營高級中學(高等学校)生徒との交流会を行いました。新營高級中學の生徒たちは、本校生徒のそれぞれの名前が書かれたプラカードで出迎えてくれたので、笑顔で交流を始めることができました。席についた時ははじめは緊張していましたが、向こうの学生が積極的に話しかけてくれたので、生徒の緊張も解けていきました。本校生徒が英語で課題研究の発表や日本や小松の紹介をする一方、新營高級中學の生徒たちはダンスや棒回し、中国ゴマ等のパフォーマンスを披露してくれました。VR体験では、驚く場面が皆同じなため、向こうの学生と一緒に盛り上がることができ、絆が深まったように思います。帰りには、別れを惜しんで抱き合ったり、連絡先を交換したりする姿が見られました。



●12月13日(木) 台湾3日目

台南市内の研修に出かけました。はじめに1653年にオランダ人と漢人の衝突事件である郭懷一事件(1652年)の後に築城された赤嵌樓を見学。続いて烏山頭ダムを見学し、ダムの建設と、この地域の発展に貢献した八田一の銅像の前で記念撮影をしました。予想以上の大きなダムに、生徒は驚いていました。その後、北回帰線公園にも行き、オブジェの前でたくさんの写真を撮っていました。

夕刻には再度台湾新幹線に乗り台北に戻ってきました。夕食後、夜市に出かけましたが、マンゴーかき氷が人気で、肌寒い中生徒たちは皆かき氷を食べていました。短い時間ではありましたが、存分に楽しんだようです。



●12月14日(金) 台湾4日目

はじめに中華民國のために活躍した33万人の英霊が祀られている追悼施設忠烈祠に行き、衛兵交代式を見学してきました。規則正しく統一された動きに、生徒は魅入っていました。続いて、日系企業講座として日勝生加賀屋元支配人の徳光重人氏の講演を聞きました。終始笑いの絶えない講演でした。「夢や目標があれば、自分の道が照らされる」という徳光さんの話に、生徒は影響を受けた様子でした。

午後は、映画「千と千尋の神隠し」に登場する湯婆婆の湯屋を彷彿させる九份を訪れました。非常に強い雨でしたが、それがまた独特な雰囲気を醸し出し、ガイドブックとは違った表情を見せてくれました。また龍山寺では、合格の神さまや縁結びの神さまに、手を合わせる多くの生徒の姿がみられました。夜はモンゴリアンBBQ。久しぶりの鍋料理ということで、生徒は嬉しそうでした。最後の夕食に、寂しい気持ちが募ったようです。



●12月15日(土) 台湾5日目

台湾最終日は、故宮博物院へ行きました。研修前からこの博物院を楽しみにしている生徒が非常に多かったため、とても楽しかったようです。学校で歴史を勉強している分、その時代のことが余計に現実味をおびて感じられました。

台湾を発った飛行機は18時半ごろ小松空港に着陸しました。長いようで短い海外交流研修が終わったことに、安堵する生徒も寂しそうにする生徒も見られました。



●生徒の感想

- ・他国と自国の違いばかり見るのではなく、共通点を見つけることが相手とのコミュニケーションをはかる上で大切だと分かりました。また、自分の国の歴史をもっと理解することも、相手を受け入れる上で大事になると実感することができました。
- ・台湾の生徒との交流では内気な性格ではだめだと思い、自分から話しかけてコミュニケーションをとりました。自分が相手に心を開いて行動すれば、相手は応えてくれるのだと感じ、嬉しく思いました。そのおかげで、台湾に友達を作ることができました。

★「人文科学コース」今後の予定★

- ◎1月22日(火) Jゼミ最終発表会
- ◎1月29日(火) NSH課題研究合同発表会